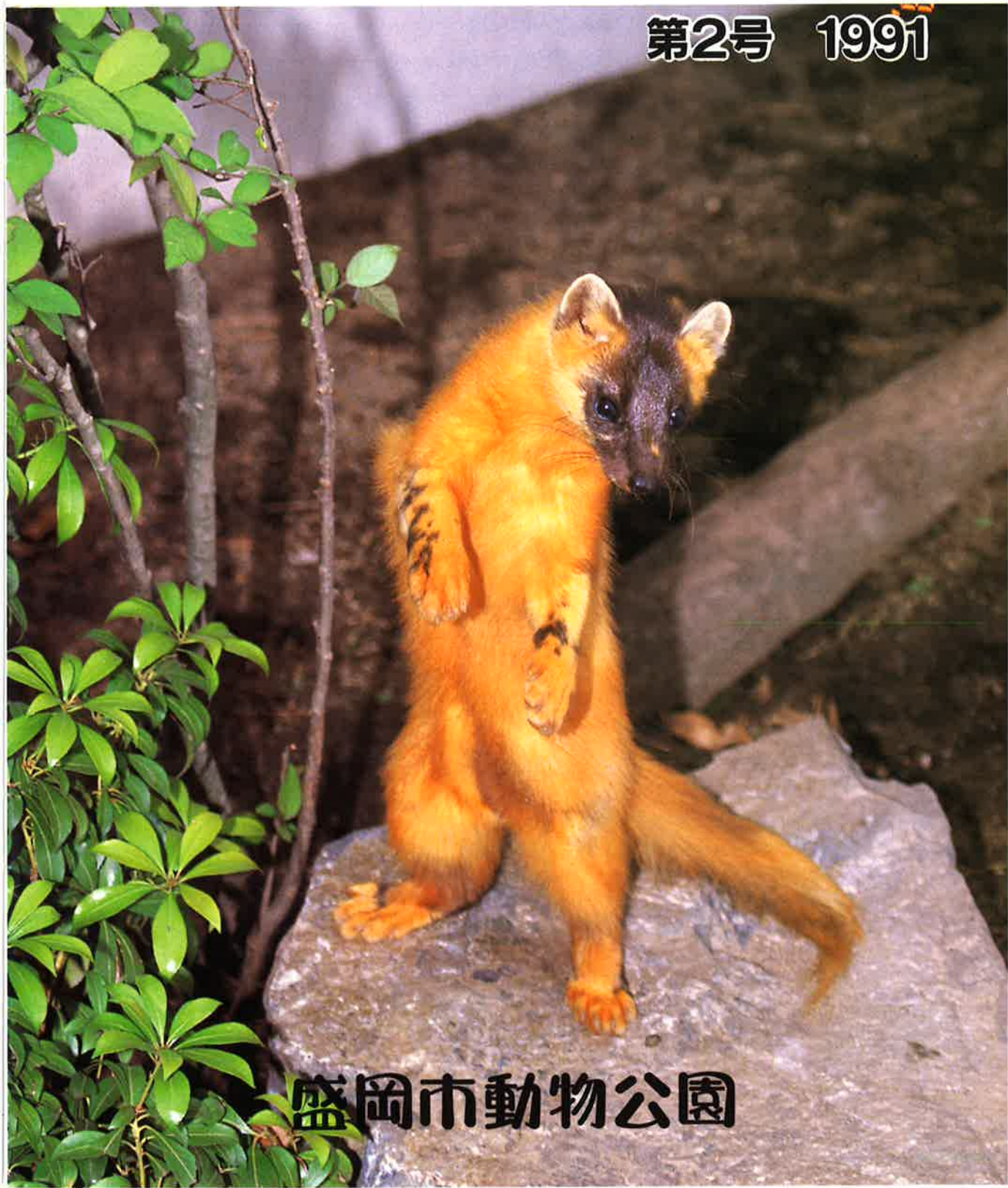


zoo もりおか

第2号 1991



盛岡市動物公園

目次

すばらしい市動物公園	3
動物公園に望むこと	3
ボクのこどもどうぶつえんたんけん記	4.5
こどもどうぶつえんのうらがわたんけん	6
どうぶつこうえんウラばなし	7
どうぶつのおはなし -フクロウ-	8.9
動物病院メモ	9
たのしかったサマースクール	10.11
たのしかった催し物	12
お便りから	13
動物公園友の会コーナーです	14
紹介しますこの人を//	14
動物公園日誌	15

表紙写真説明

テン (食肉目イタチ科)

日本にはテンの仲間が2種類います。一つは北海道にすむクロテンで、現在はとも少なくなっていました。もう一つが盛岡市動物公園で飼育されているテンです。

テンは本州、四国、九州、対馬の森林にすんでいます。木のぼりが得意で、すばしっこいリスやムササビなどをとらえて食べるほか、アケビやヤマブドウなどの果物もよく食べます。動物公園でも肉だけではなく、バナナやリンゴ、メロンなども与えていますが、バナナが大好物で真先に食べてしまいます。

テンは夏と冬で毛の色が変わることで有名です。夏は体がくすんだ黄色で顔と手足が黒ですが、冬になるとあざやかな黄色の長い毛となり、顔も白く変化します。しかし、手足の黒は夏と一緒です。動物公園では10月中旬ごろから額のあたりが白くなり、体の毛も多く抜けるようになります。そして2ヵ月もすると完全な冬の姿に変身します。春は3月下旬ごろから、やはり2ヵ月ぐらいかけて夏の姿になります。

今度、動物公園に来たら、木の上でのすばやい身のこなしと毛色に注意して観察してみてください。観察には昼間より午前中や夕方の方が活発に動き回っているので良いようです。

すばらしい市動物公園



盛岡市教育委員会
教育長 佐々木初朗

動物公園の入口の猿山を左手に見ながら、ほど良い傾斜の広い坂道を、動物たちに声をかけながら下っていきます。道端の草花も、とてもきれいです。遠くを眺めると、木々の緑がいっぱい、すばらしい自然が広がっています。

盛岡市動物公園の良さは、なんとと言ってもすばらしい自然に親しみながら、のびのびと生活する多くの動物たちとふれ合い、いろいろな植物の観察までもできることです。

今年7月には、待望のアフリカ園ができると

言います。アフリカ園だから、きっとライオンや、ゾウ、キリンが来るに違いありません。

学校では、「身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。」とか、「自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動植物を大切にする。」とか、「自然の偉大さを知り、自然を愛し、自然環境を大切にする。」などについて学ぶことになっています。

盛岡市の動物公園を一周するだけで、これらの内容のすべてが学習できると思います。

なんの解説もありません。子供たちと一緒に、いろいろな動物たちに声をかけ、美しい自然と多くの植物をめめて歩いてだけで、大きな学習することになるでしょう。

動物公園も間もなく3周年目の春を迎えることになります。新しいアフリカ園の動物たちと逢える楽しみと、あちこちで元気いっぱいの二世、三世の産声を聞く楽しみとが重なって、余計に待ち遠しい3年目の開園となりそうです。

動物公園に望むこと



澤口たまみ

幼いころに見た動物園の多くは、動物たちが狭いオリの中に入れられており、何とも不自然だったことを覚えています。

幸いに盛岡市動物公園は、飼育スペースが比較的ゆったりとしているため、あまり不自然な印象を受けず、安心して見学することができます。

動物園の良し悪しは、動物の種類の数で決まるのではなく、そこにいる動物たちが、いかに生き生きと、自然に近い状態で暮らしている

かということに、かかっているような気がいたします。

そして、そんな動物たちの姿を通して、少しでも多くの方が、野生動物に対する理解を深めることができれば、たいへん素晴らしいのではないのでしょうか。

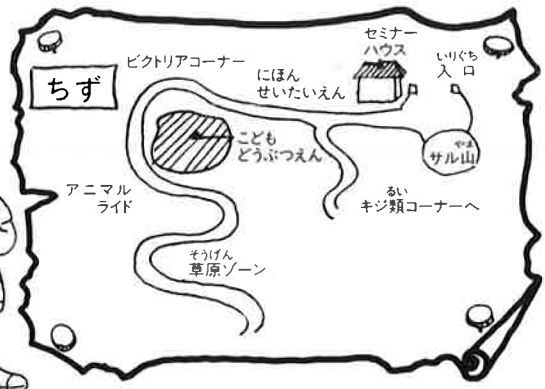
飼育されている1頭のツキノワグマから、自然界に生きているたくさんのツキノワグマへの思いが広がり、さらにはその生命を育てている豊かな森の恵みにまで思いが及ぶ——盛岡市動物公園は、そのような場所であって欲しいと、心から願っております。

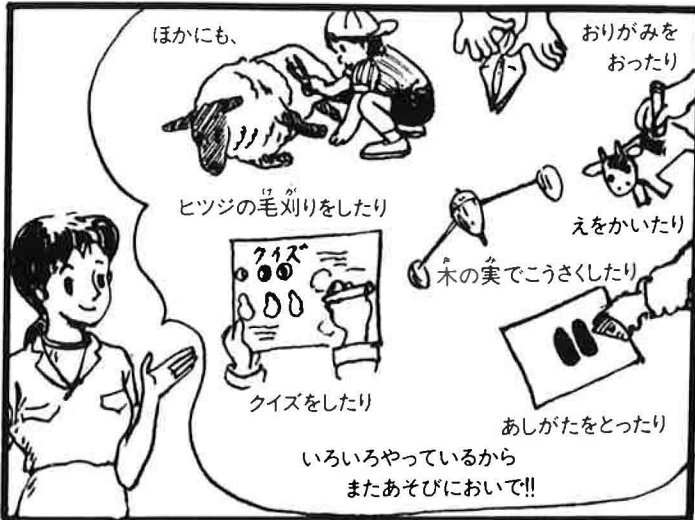
澤口さんは、岩手大学大学院で応用昆虫学を専攻し、カイコの研究をされています。また、子供たちを集めて自然観察会をひらいたり、自然についての愛情こもったエッセイを発表するなど、独自の活動もなされています。著書「虫のつぶやきが聞えたよ」は1990年日本エッセイストクラブ賞に選ばれ、さらなる活躍が期待されています。

ボクの子どもどうぶつえん

たんけん記

ボクはきょう、
子どもどうぶつえんをたんけんするんだ。
おべんどうももったし、いっぱいいろんな
ことを、みたりきいたりしてくるぞ!!





— たんけんメモ —

ウサギのだっこ 子供動物園で
平日 10:30~11:30 13:30~14:30
日・祝祭日 10:30~12:00 14:00~15:00
ポニーの乗馬 5才以下9才まで
ライオンライオンライオン
日・祝祭日 10:45~11:45 14:00~15:00
土曜 日 14:00~15:00
(火・木曜日 14:00~15:00)
休・夏休みのみ

どうぶつだいすきクラブ
第2・4日曜の午後1時から、子供動物園で。小学生まで自由に参加できます。
動物公園スクール
◆どうぶつ教室 (小さい子向け)
・スライド上映やゲーム
・ウサギのだっこ
・ヤギにエサやり
◆ガイドツアー
◆スライド「飼育係の・H」

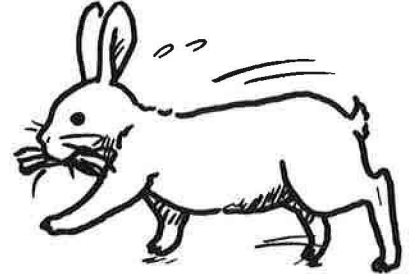
毎週 火・木・金・土曜
10:30~12:00 13:00~15:00
米園日の一週間前までにご予約下さい。
講習会
動物に関する講習、解説、アドバイスなどを行います。
お1人でも可能です。
曜日、時間帯は動物公園スクールと同じです。講習希望日の一週間前までにご予約下さい。

こどもどうぶつえんのうらがわたんけん

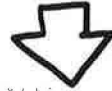
- みんながだっこするうさぎはどこからくるのかな? -



①だっこをしてもらおうウサギは小さいウサギの方がよいので、おかあさんウサギに赤ちゃんをうんでもらいます。



ワラをくわえてはしたり、じぶんのおなかの毛をむしったら…



⑤そして、もう少し大きくなったらつめを切って、



⑥みんなにだっこしてもらいます。



④そろそろだっこされるれんしゅうもしなくてはなりません。



③もう少し大きくなったらウサギ・モルモット舎にうつします。そこで、ウサギの子どもが何日すると、どれくらい大きくなるのかを見てもらうのです。

②お産用のケージにうつします。すると…

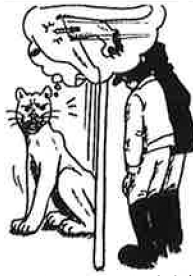


⑦毛はまだはえていませんが、もようはだいたいわかります。

⑧目はまだ見えませんが、何か動くとピョコンとはねます。おかあさんがそばに来ておもって、オッパイをさがしているんです。

どうぶつこうえんウラばなし

ピューマのカゼは なおったけれど…



それは去年の冬のことでした。ピューマの小屋に入っていくと、雄の様子がおかしいのです。腰がふらついて、立つことができないのです。目も半分ねむったようです。さっそく獣医さんと呼んで診察してもらいました。

猛獣の場合は、直接体にさわることができないので、診断は動きや目つき、毛のつやなどを見て行うことが多いのです。獣医さんの診断は、「熱がありそうだ。きっとカゼをひいたんだろう。」ということでした。そこで、治療をすることになりました。動物の場合、薬をのませるのは大変なことですが、あまり食欲がないようです。しかたがないので注射をすることになりました。注射といっても、「ハイ、手をだして……」というわけにはいかなないので、吹き矢をつかいます。ピューマのおしりをねらって注射器をとばしてやるのです。その日から3日間、熱さましや抗生物質の注射をつづけたおかげで、ピューマはすっかり元気になりました。でも、それからしばらくは、飼育係や獣医さんを見ると歯をむき出しておこっけてしまいます。すっかりきらわれてしまいました。

羊生まれの ヒツジ



ことしは羊年ですね。ヒツジはふつう春に子どもが生まれるのですが、動物公園では、なんと1月2日のお正月にメスの赤ちゃんが1頭生まれました。春に生まれるとばかり思っていた飼育係の人たちは、昼間、運動場でまっ黒なヒツジの赤ちゃんが生まれていたのも、とてもびっくりしてしまいました。今年の冬はなかなか寒くならなかったからでしょうか？ それとも、羊年だからでしょうか？ いずれにしても、羊年の新年早々にヒツジの赤ちゃんが生まれるとは縁起のいい年にな

りそうです。

大人のヒツジは白っぽい色をしています、生まれたころはまっ黒でウマのように長いしっぽがあるって知っていますか？ みなさんが知っているヒツジはたぶんしっぽがないヒツジでしょう。それは小さいときにしっぽを切ってしまうからです。ちょっとかわいそうですが、しっぽが長いとおしりのまわりがよごれてしまって病気になることがあるからです。1月2日に生まれたヒツジも、1月14日、獣医さんにしっぽを切ってもらい、軽くなったおしりでピョンピョンはねながら毎日元気に遊んでいます。

クマの 冬ごもり



野生のツキノワグマは、11月下旬から12月上旬にかけて乾燥した穴などに笹などを敷きつめて冬ごもりし、その最中に赤ちゃんを生みます。動物公園でも初めての出産予定がありましたので、12月中頃から寝室を暗くし、生まれてくる赤ちゃんが寒くないように乾草を入れて準備をしました。しかし、今年は温かい日が続いたためなかなか冬ごもりをしてくれませんでした。

12月の終わりにようやく寒くなり、雄グマが眠りに入りましたが、雌グマはなかなか冬ごもりの様子がありませんでした。今考えてみると、出産のために眠りに入らなかったのだと思います。

そして、その数日後の朝、ついに寝室の中から「キューン、キューン」と言う赤ちゃんの鳴き声が聞えました。その瞬間、おもわず「ヤッター」という気持ちになり、うれしくてたまりませんでした。早く赤ちゃんを見たかったのですが、親グマが自分の腹の下にかくしてしまっている様子が見えないため、つい「たのむ、見せてくれ!!」とやってしまいました。この親グマは人工哺育されたので人によくなっています。3日後、親グマも落ち着き仔グマを見せてくれました。仔グマは1頭でした。ネズミぐらいの大きさで手のひらに乗るほど小さく、毛も生えず、目も開いてないようです。それでも親グマのオッパイにしがみついています。早く大きくなってみんなにヤンチャな姿を見せてほしいと思います。

どうぶつのおはなし —フクロウ—



みなさんはフクロウという鳥を知っていますか。日本では九州から北の森林にすんでいて、おもに夜活動している鳥です。そのため、昼間は木のほらや大木のしげみの中で休んでいます。そういうフクロウを小鳥たちが見つけると、寄ってたかって攻撃することがあります。このような小鳥たちの行動を「モビング」といいます。

しかし夜になると、暗闇でもよく見える大きな目と、小さな物音も逃がさない鋭い耳で、ネズミ・カエル・鳥・昆虫などを見つけてます。そして、音もたてずに羽ばたいて獲物に近づき、鋭い足の爪で捕えます。鋭いくちばしで獲物を引きちぎって飲み込み、消化できない毛や羽、骨などは口から吐きもどします。この吐きもどした物を「ペリット」といいます。

また、フクロウの目はほとんど正面を向いたままで、人間のように上下左右に動かすことはできません。そのかわりに首が上下左右によく動き、まうしろを向くこともできます。

春になると、大木のほらなどに2～4個の卵を産み、1ヵ月ぐらいでヒナがかえります。しかし、最近はこのような大木が少なくなってきたので、フクロウにとっては住宅難の時代となりました。

動物公園には3羽のフクロウが暮らしています。そのうち2羽は県内で保護されたヒナを育てたものです。残りの1羽は東京の動物園からやって来ました。この3羽が暮らしているフクロウ舎には2階建ての巣箱がひとつ入っています。今年の春、3月23日のことです。東京からやってきたフクロ

ウが巣箱の中にとじこもり、外に出てこなくなりました。「もしや、卵を抱いているのでは？」と思いましたが、無理に押しつけて中をのぞくわけにもいかなないので、その日は、かすかな期待を胸にフクロウ舎を後にしました。

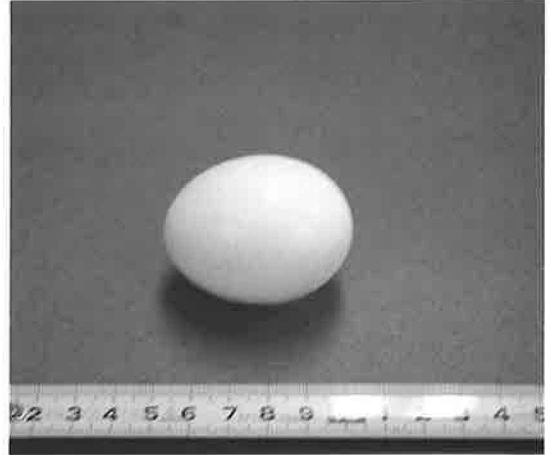
次の日、親鳥がエサを食べるために巣の外に出たすきに中をのぞいて見ると、「ありました、ありました」ニワトリの卵よりもひとまわり小さい白い卵が1個、巣箱の床に産んでありました。

その後も、このフクロウは卵を抱きつづけ、4日後には2個の卵を、5日後には4個を確認することができました。ところが、4月7日の夕方、フクロウ舎に行くくと地面に割れた卵が2個落ちていました。あわてて巣の中をのぞくと、残りの2個はなんとか無事でした。親鳥も卵を抱き始めましたので、「これで、まだ希望がもてる」と思ったのですが、3日後には親鳥が巣を離れてしまい、卵を抱かなくなりました。そのため、残った卵を取り出してみると、1個はすでに一部割れており、もう1個は無精卵でした。その後も二度、卵を産んだのですが、2個とも地面に産み落としてあり、見つけたときはすでに卵は割れていました。





昨年はこのように失敗をしてしまいましたが、その反省をもとに色々つくふうをして、今年はなんとか成功することを期待しています。もしかすると、かわいいフクロウの幼鳥の姿が見れるかもしれませんよ。



動物病院メモ

クマの肝硬変

吹く風が冷たさをます10月、ニホンツキノワグマの飼育係が、「最近よく咳をしています」と言って来ました。その数日後、クマが階段から転がり落ちて起き上がらなくなってしまったのです。かけつけると、元気がなく寝そべり、呼吸も苦しそうです。「肺炎などになっては大変だ」ということで、さっそく治療を始めました。大好物のリングヤハチミツの特製ジュースをつくり、薬を飲ませているうちに、元気をとり戻し、数日後には運動場へも出て行くようになりました。

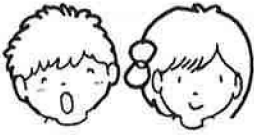
ところが、それから1ヵ月ほど過ぎた頃、また同じように元気がなくなり、餌も食べなくなりました。今度は、治療をしてもすっかり良くなりません。「ただのかぜではないな」と考え、色々と手をつくしましたが、良くなったり、悪くなったりを繰り返しているうちに、少しずつおとろえて行きました。結局、4ヵ月間の治

療の末、春を待つことなく息をひきとりました。

すぐに、解剖検査をした所、ひどい肝硬変となり、体中が弱りきっていました。それでも皮下脂肪などは厚く、肥満が一番の原因と考えられました。

このクマは、保護された子供の時から動物公園に来るまでの数年間、人間の食事と同じものを与えられていたそうです。当然、油や調味料で料理されていたでしょう。野性では口にしないようなものを、長い間、とり続けて肥満状態におちいってしまったということです。

動物公園では、太りすぎのため質素な餌を与えていましたが、長年にわたり蓄積されたものが簡単になくなることはなく、ちょっとしたキッカケで大変な結果をまねいてしまったわけです。少しずつ徐々に蓄積されてゆく、目に見えない障害が、いかに恐いものであるかということを思い知らされました。



ためしかったサマースクール

動物公園では来園者のみなさん、特に子供さん達により動物や動物園に親しんでもらおうと、様々な催し物をおして、教育普及活動にとりくんでいます。

その中で特に参加者に好評なのがこのサマースクールです。これは小中学生を対象に一日飼育係を体験してもらうもので、平成2年度の第2回では3日間で70名の参加がありました。

小学3年生までは子供動物園のヤギやウサギ等、4年生以上はその他の動物を、それぞれ担当の飼育係と一緒にグループになって、朝の放飼から寝室の掃除、エサ作りとひととおり1日分の世話をします。また、担当の動物をよく観察して特徴をまとめたり、「どうしてゾウの鼻は長いのか?」「動物の毛はどんな役にたっているのか?」など話を聞きながらみんなで一緒に考える勉強の時間もあります。ポニーにも乗りました。さらに新しい試みとして希望者に後日もう一度集まってもらい、自分の担当した動物について一般のお客さんの前でスポットガイドをする“学習会”も行いました。

夏の暑いさかりに、大人でもつかれてしまう飼育係の仕事をみんな本当に最後までがんばりました。くさいのがまんしました。日程も終わりに近づくと、さすがにグッタリしていましたが、それでもアンケートをとると全員が「来年も絶対に来たい」と言ってくれます。そんな声を聞くことが、また、その後来園して気軽に声をかけてくれたりすることが飼育係にはとても大きなはげみになります。

そんなサマースクールの様子を写真と、参加者に送ってもらった感想文で紹介しします。



さあ、みんなきょうは1日飼育係です。ちゃんと長グツをはいてきたね。



動物のへやをきれいにそうじしました。ちょっとくさいけどがまんしてがんばりました。



ヤギの身体そくていをしながらいろいろなとくちょうをおそわりました。



動物のエサづくりです。ちゃんとときまつたりょうを毎日食べているんだよ。

べんきょうするのもしんけんです。夏休み▶
の自由けんきゅうができちゃうね。



◀ 学習会。一般のお客さんの前で、自分のた
んとうした動物について説明しました。みん
な大きな声でしっかりできました。

感想文

アライグマのおせわをして

青山小学校 1年 橋爪直樹

アライグマのドアをあけてアライグマのへやに入ったときぼくは、くさいとおもいました。
でも、口には、ださないようにしました。

一日飼育係になって

白百合小学校 4年 菅原貞奈

私は、八月一日に、動物公園の、サマースクールで、一日飼育係をしました。私は、（四年生で、
どんな動物の世話をするんだろう。）とドキドキしていました。

そして、はん分けで、私は、アメリカバイソン、オグロプレイリードッグ、エミュー、パルマワラ
ビーを、世話する事になりました。

道をずっと行くと、オグロプレイリードッグの所へ着きました。あみがかかっていたので、そのあ
みを力いっぱい取りました。そして、えさばこをあらってから、プレイリードッグがすみっこに二ひ
きいたので、出す時、とてもこわかったです。そうっとおしりの所をさわったら、にげていきました。
でもかわいいなあと思いました。

バイソンは、見た時は、小さかったのに、近ずくと、大きくて、こわくなってきました。バイソン
の所には、バイソンの毛が、たくさん落ちていました。

エミューも、少し大きくて、（つかないかたあ。）と、思って、少しこわかったです。それに、つ
つくと、とてもいたそうなくちばしで、長い足で、ウロウロ変な歩きをしながら、歩き回って、そう
いう所も、こわかったです。

パルマワラビーは、カンガルーそっくりでとてもかわいくて、（これなら、オグロプレイリードッ
グと同じように、そんなにこわくなく、さわれるな。）と、思ったら、来るだけでにげるから、さわれ
ません。少しざんねんです。

さいしょは、とてもこわかった動物も、だんだんなれてきて、あまり、こわくなくなってきました。
動物はとてもかわいいなあ、と思ってきました。もっと、いろいろな動物のことを、知りたいです。

たのしかった催し物

動物公園では、たくさんの方々に参加してもらおうと、色々な催しを企画しました。その中で好評だったものを紹介しましょう。どれも参加自由で、豪華賞品(?)がもらえるためか、いつもにぎやかな声でいっぱいでした。

動物計量クイズ (6月10日~17日)

「子グマの体重を当てよう」を1週間にわたり、投票してもらいました。796人中、正解の11.2kgを2人がズバリ当て、抽選の結果、高橋法子さん(盛岡市)に記念品が送られました。

幼い我が子と見比べて子グマの体重を考えるお母さんの姿がかなり見られました。

動物愛称募集 (9月1日~20日)

「ヒトコブラクダの名付け親になりませんか」を投票してもらいました。821票中オスは「ラッキー」、メスは「ララ」に決定し、名付け親には、それぞれ、佐藤利継子さん(盛岡市)と小国慎さん

(盛岡市)になっていただきました。

目立ったのは、「太郎」「花子」の日本風、「キヤメル」「キヤメコ」の英国風などですが、「キリン」「とーちゃん」「かーちゃん」「オヤジ」など笑えるものもかなりありました。

動物クイズ大会 (11月3日)

クイズを通して動物に親しんでもらおうと、クイズ大会を実施しました。秋晴れの下、約500人が参加し、斉藤博之さん(盛岡市)が9問全問正解で初代チャンピオンになりました。問題をいくつか紹介します。

第1問 野生のニホンザルはむかし北海道にも住んでいたという証拠がある?

第2問 アナグマの指の数は前後とも5本ずつある?

第5問 ニホンカモシカはウシのように反すうする?

決勝戦 アメリカバイソンの胃袋はいくつ?

チャンピオンの斉藤さんは、第1問目でかなり迷ったようですが、決勝戦では自信满满で答え、思わずガッツポーズが出ました。



お便り から

動物公園も開園2年目を迎えましたが、3月15日から11月30日の開園期間中に17万人余りの方に利用されました。

交通安全パレードや写真撮影会の会場になったり、文化祭の研究題材、学校新聞の取材など、開園1年目とはひと味違った利用も目立ちました。

また、他県の動物園からの視察者も多く、動物園関係者にとっても、盛岡市動物公園が興味深いものであることを物語っています。

うさぎのだっこ

わたしはうさぎをだっこしました。うさぎは黒と白のもようでした。黒い目で、じっとわたしを見ていました。わたしも、せなかをなでながらじっと見つめかえました。そして耳をびくっとしたかとおもうと下へさがりました。うさぎをもう一回なでるとこんどは、上へのぼって行ってまた、わたしをじっとみては、くりかえしていました。ふわふわしてあったかかったです。うさぎの黒と白の毛がかわいかったです。わたしが小さなこえて、「かわいいね」といいました。うさぎも、「うん」といっているようでした。わたしは、耳をさわってみました。すると、うさぎは目を二回もばちくりさせました。うさぎは、赤ちゃんより小さい手をわたしのからだにのせていました。

うさぎは、わたしをみると、ひよこのほうをみていました。わたしは、うさぎをみると白い毛だけさわってみました。うさぎはうれしそうでした。

おわれのときわたしは小さなこえて「さようなら」といいました。

盛岡市立松園小学校 2年 うち田 あすか

モルモット

二組がおわって、ぼくのばんになりました。モルモットをだっこしました。はじめてだっこしたからドキドキしました。モルモットもドキドキしてました。モルモットは、うさぎに、にっていました。

いちばん、目がかわいかったです。色が、白とか黒がありました。毛がふさふさして、やわらかかったです。手が、ねこみたいで、いたかったです。モルモットがうんちをするかとドキドキしてました。でも、しなかったから、よかったです。

盛岡市立松園小学校 2年 たきさわ じゅん

ヒヨコ

ぼくは、ヒヨコをだっこしたいなと思っていたら、そのとおり、ヒヨコでした。手をなにかうけとるようにして、ヒヨコを手のにのせて、とじました。さいしょは、足のつめがいたかったけど、後でくすぐったかったです。ヒヨコの毛がふかふかして、あったかかったです。

おかあさんも、おなじ年のころ、ヒヨコをかったことがあるそうですってでも、三日くらいで、しんじゃったために、すごくないたそうです。かごにもどしたあと、バイバイして、手をあらいました。

盛岡市立松園小学校 3年 さわ山 たくみ

豊間根 道子様

お手紙ありがとうございます。さっそく読ませていただきました。ズー盛岡も読ませていただきました。動物公園の楽しい一日が、良く分かりました。4時には動物たちも家に入ってエサの時間だったなんて初めて知りました。私が一番好きな動物は、オグロプレーリードックと、アライグマです。プレーリードックはとってもかわいいし、アライグマは、いつ、どこで見てもかわいいですよ。

うちでは、今、うさぎをかっています。オスとメスをかっています。お姉さんのうちではどんな動物をかっていますか教えて下さい。

ズー盛岡の12ページにある動物たちと言うページとてもおもしろいです。ニホンザルも、私から見てもおもしろくてたまりません。それに、フクロウは中々動かないけど私から見ればおもしろいです。テレビで水曜日の夜8時に、わくわく動物ランドと言う番組やってるんですけど、私は、毎週これを見て動物のことをおぼえています。

暑さが毎日つづくようですが、動物たちは夏バテしていませんか。毎日暑い日がつづいています。夏バテしないようがんばって下さい。

ズー盛岡に、私ののをのせてくれてありがとうございます。読んでとってもうれしかったです。一番良かったのは、岩手医大病院に居る、83歳の女性の方の作文にオジロワシの事が書いてありました。その中の本文で、「私たちに、ワシの如く」と教えてくれましたが、そのワシを飛ばなくしたのは、人間です。と書いてありました。私は思うのですが、人間は動物を殺すのか、私も思いました。動物の大切さを知ってほしいです。私は、とうぜん、動物は好きです。でも、動物を殺して面白がる人間で最低だと思えます。やっぱりかわいかった方がよいと思います。動物は自然の生き物ですからね。

さて、お姉さんの方では、夏休みありましたか。東和中の夏休みは、7月25日から8月16日までです。短かったけど楽しい夏休みでした。中学校の校外支会で松尾村のアータロ村へ行ったり、家族で陸前高田の吉浜へ行きました。夏休みはこんなに良い思い出を出してくれました。

お姉さんは、夏休みはどこへ行きましたか、教えて下さい。ズー盛岡の9ページのガンタ君の方面白かったです。2回目で気付いて、それ以来、赤外灯の上には登らなかつたと言う話、すごく面白かったです。動物たちもおもしろい所があるんですね。

それでは、お体に気をつけてがんばって下さい。

(平成2年8月21日火)

東和町立東和中学校 3年 平野 久美子

どうぶつえん

せんせい、あのね、わたしはきょう、どうぶつこうえんにいって来ました。どうぶつこうえんにいったら、とんぼつかまをしました。いもうとにもとってあげたかったけど、とろうとすればにげてしまうし、とつてもだめでした。11時から12時までひよこをさわれました。ひよことうさぎはさわったけど、モルモットはさわれなかったです。

ローラーすべりだいをしたのしかったです。それにあそぶものもふえたのでうれしかったです。あと、二ねんせいのあかぐみのしってるひとがきたのでうれしかったです。

あたらしいあそびでいちばんたのしかったのは、つりばしというのです。わたしがいちばんうれしかったことは、くもりから雨とニュースがいったけど、くもったりはれたりっていっぱいあそべたのがうれしかったです。

さるのあかちゃんが丸ひきいて、かわいかったです。さるがへいへのぼろうとしているところも見ました。でもおちてしまいました。うさぎのあめをたべてうれしかったです。ピューマを見てたのしかったです。

岩大付属小学校 1年

すずき こなつ

動物公園 友の会のコーナーです

動物公園が開園して2年目の春、「動物公園友の会」ができました。

動物公園を好きになってしまったお友だちはたくさんいるようですが、そういう人たちのためにできました。みんなが集まって楽しく過ごすうちに、今まで知らなかった動物たちのお話を聞いたり、新しいお友だちができた、飼育係の人たちともなかよしくなってしまうという、よくばりな集まりです。



お父さん、お母さんと一緒に家族づれで来た人、なかよしのお友だち同士ではしゃぎながら来た人など、みんなそれぞれに楽しんでいました。でも、飼育係の人たちのお話を聞いたり、林の中に入った時は、だれもが一生懸命見て、聞いて、さわって(?) いました。これからも、会員のみんながもっともっと知りたいこと、やってみたいことを続けて行く予定です、楽しみにしててください。



会員は50人、5回の例会がありました。

第1回(4月15日):「オリエンテーションと園内ガイドツアー」

第2回(7月15日):「動物たちの1日と飼育係の仕事」

スライドを見ながらお話を聞いた後、動物舎内を見学しました。

第3回(9月16日):「雑木林にはいり、自然にふれてみよう」

動物公園内の林の中で、植物や野鳥、小動物(ノネズミ、カエルなど)を観察しました。

第4回(12月9日):「動物の行動を観察しよう」お友だち同志のグループに分かれて、ニホンザルの行動を観察した後、その結果をまとめました。

第5回(2月24日):「動物病院の仕事」

スライドを見ながら獣医さんのお話を聞きました。また、4月からの活動についての話し合いもしました。



紹介しますこの人を!!



谷 藤 勤

昭和38年10月4日盛岡市生れ

今年の干支・羊担当の彼は、羊の鳴き声は「メー」ではなく「ネー」だと主張する。また毛深さでは羊に負けない。自分の毛刈りも欠かさないと。

彼のまわりには、いつも笑いがある。羊たちも「ネー、ネー」と笑っているように見える。

サーフィンに、スキーにと青春真っ只中の彼だが、いまだに知恵熱に悩まされているらしい。(O氏談)

動物公園日誌 (1990.1.1~12.31)

1. 21 冬の動物観察会
 1. 24 ヤマドリ雌2羽、弘前市より寄贈入園
 1. 25 オジロワシ雌1羽、宮古市より保護収容
 2. 2 パルマワラビー1頭繁殖
 2. 5 文化庁、県教育委員会文化課より来園視察
 2. 9 県自然保護課長来園視察
 2. 12 オオハクチョウ幼鳥1羽市内より保護収容、2日後放鳥
 2. 16 秋田市大森山動物園・小松係長他来園視察
 3. 15 開園・多摩動物公園・萩原係長来園視察
 チョウセンオオタカ1羽死亡
 3. 20 ニホンツキノワグマ1頭死亡
 3. 22 福島県鳥獣保護センター・丹治獣医師来園視察
 3. 25 どうぶつだいのすきクラブ「動物クイズ」
 3. 30 ニホンツキノワグマ幼獣2頭、岩泉町より保護収容
 3. 31 ニホンザル (No.15) 出産
 4. 8 どうぶつだいのすきクラブ「はり絵をしよう」
 4. 13 ニホンザル (No.6) 出産
 4. 14 ニホンザル (No.9) 出産
 4. 15 動物公園友の会第1回例会
 ニホンザル (No.5) 出産
 4. 16 パルマワラビー雄1頭死亡
 4. 17 コノハズク1羽、紫波町より保護収容
 4. 18 ニホンツキノワグマ幼獣雄をクマ牧場(鹿角市)の成獣雌と交換す
 4. 22 盛岡市山草同好会よりロックガーデン受贈
 どうぶつだいのすきクラブ「動物のおめんをつくろう」
 園内野鳥巣箱かけ実施
 フクロウ1羽、川井村より保護収容
 4. 25 ヤマドリの人工授精開始
 4. 30 こどもの日、中学生以下入園無料
 5. 5 野鳥観察会開催
 5. 6 動物公園入園者30万人記録
 5. 8 上野動物園・祖谷係長他来園視察
 5. 11 どうぶつだいのすきクラブ「ヒツジの毛刈り」
 5. 13 トウホクノウサギ (No.8) 出産
 5. 14 ニホンアナグマ1頭、市内より保護収容
 5. 15 ニホンカモシカ幼獣1頭、一関市より保護収容
 5. 18 ニホンカモシカ幼獣1頭、紫波町より保護収容
 5. 19 ニホンカモシカ幼獣1頭、市内より保護収容
 5. 20 ニホンザル (No.4) 出産
 5. 25 ニホンザル (No.10) 出産
 5. 26 どうぶつだいのすきクラブ「動物まちがいがさかし」
 5. 27 オシドリ11羽孵化
 6. 4 東北7県北海道ブロック鳥獣行政事務連絡協議会出席者来園視察
 6. 7 池田動物園・池田園長来園視察
 6. 8 どうぶつだいのすきクラブ「餌をあげよう」
 動物計量クイズ実施(～6.17)
 カナダ大使館1等書記官来園視察
 6. 10 平成2年度第1回通常理事会開催
 6. 13 市川市動植物園・武藤園長来園視察
 6. 23 どうぶつだいのすきクラブ「餌をあげよう」
 6. 24 ニホンキジ雛10羽、都南村より保護収容
 6. 27 パルマワラビー育仔のうより脱落死亡
 6. 28 ミカドキジ6羽自然孵化
 6. 29 どうぶつだいのすきクラブ「動物のなき声をあてよう」
 7. 8 仙台市八木山動物園より15名来園視察
 7. 11 動物公園友の会第2回例会
 7. 15 徳島市動物園・加茂園長他来園視察
 7. 17 夏の交通安全パレード実施
 7. 21 どうぶつだいのすきクラブ「動物の絵をかこう」
 7. 22 夜の動物観察会
 7. 28 サマースクール開催(～8.2)
 8. 4 サマースクール学習会
 8. 12 ニホンカモシカ幼獣1頭、岩泉町より保護収容
 どうぶつだいのすきクラブ「ミニオリエンテering」
 飼育実習(向中野高校3年佐々木陽子)
 8. 26 どうぶつだいのすきクラブ「頭の骨をみてみよう」
 8. 27 ニホンカモシカ2頭、県鳥獣保護センターへ移管
 9. 1 ヒトコブラクダ愛称募集(～9.20)
 帯広動物園・阿部係長他来園視察
 9. 2 昆虫観察会
 9. 5 アメリカバイソン出産
 9. 9 どうぶつだいのすきクラブ「足型をとろう」
 9. 14 東武動物公園・田島氏来園視察
 9. 15 敬老の日、65歳以上入園無料
 9. 16 動物公園友の会第3回例会
 9. 21 世界自然保護基金バンド募金開始
 9. 23 どうぶつだいのすきクラブ「だれの餌かな」
 動物相談会(～9.24)
 9. 26 動物慰霊祭
 9. 29 東武動物公園・田中氏、狭山市こども動物園・小島氏、江戸川区自然動物園・長坂氏他来園視察
 10. 5 中国大連市行政視察団来園視察
 10. 6 カナダ・ビクトリア市教師団来園視察
 10. 7 木の実・落ち葉工作会
 10. 12 オオタカ2羽、八木山動物公園より寄贈入園
 10. 13 動物公園入園者40万人記録
 10. 14 どうぶつだいのすきクラブ「木の実や落ち葉であそぼう」
 10. 19 チョウセンオオタカ1羽死亡
 10. 28 どうぶつだいのすきクラブ「動物の耳を作ろう」
 10. 30 上野動物園・中村氏来園視察
 11. 2 ニホンザル、マーキング実施
 11. 3 動物公園クイズ大会
 11. 7 ヤマネ1頭死亡
 11. 11 どうぶつだいのすきクラブ「動物紙しばい」
 11. 23 どうぶつだいのすきクラブ「動物おりがみ」
 11. 25 富士自然動物公園・土屋係長他、茶白山動物園・福井獣医師他、伊豆シャボテン公園・矢島獣医師来園視察
 11. 27 弘前市弥生いこいの広場にミカドキジ寄贈す
 11. 28 釧路市動物園・小柳園長補佐、旭山動物園・小菅係長、大森山動物園・小松係長、狭山市こども動物園・高橋主事、豊橋市動物園・武田係長他、安佐動物公園・福本課長補佐、高知県公園協会・絹田課長補佐来園視察
 11. 29 上野動物園・阿部氏、多摩動物公園・平松獣医師他、富山市ファミリーパーク・山本係長他、千葉市動物公園・高橋氏来園視察
 12. 1 冬期休園(翌年3月14日まで)
 12. 18 大森山動物園よりオシドリ寄贈入園
 12. 20 オジロワシ(保護収容個体)死亡



オカトラノオ (サクラソウ科)

山地や野原の日あたりのよい場所に普通にみられる多年草です。地面の下に長く地下茎をのばしてふえていきます。高さは60cmから1mぐらいです。茎はまっすぐにのび、長い楕円状の先のとがった葉をたがいちがいにつけています。夏には、茎の頂きに片方に傾いた総状花序をつくります。これは小さな白い花が密に多数あつまつたもので先にいくにしたがって細くなっています。オカトラノオとは、この花穂が獣の尾けむすのに似ていることからついたもので、岡虎の尾という漢字が当てられています。

写真は7月に動物公園のせせらぎの路の白鳥池周辺でとったものです。このほかにも動物公園にはたくさんの野生の植物が生息しています。動物公園においでの際は、ぜひ植物図鑑も持ち物の一つに加えてみてはいかがでしょうか。新しい発見がまっているかもしれませんよ。

zoo もりおか

第2号 1991年

発行日 平成3年3月15日

編集・発行 (財) 盛岡市動物公園公社

〒020 岩手県盛岡市新庄字下八木田60-18

TEL. 0196 (54) 8266

印刷所 三陽印刷株式会社